

## 糖尿病内科

瀧 秀樹

当科は糖尿病の治療ならびに合併症の早期発見に努め、QOL改善に取り組んでいる。

看護部・栄養管理室・薬剤科・臨床検査科・リハビリテーション科・口腔外科と糖尿病チームを組織し、共同で糖尿病教室・糖尿病デーの催しを行い患者への情報提供に取り組んでいる。また看護部とフットケア外来、看護部・栄養管理室と透析予防外来、看護部・栄養管理室と1型糖尿病外来を開設し専門医療を提供している。専修医の教育の一環として学会発表を行っている。

### 【2016年度 研究発表業績】

A-0

Uzu T, Araki S, Kashiwagi A, Haneda M, Koya D, Yokoyama H, Kida Y, Ikebuchi M, Nakamura T, Nishimura M, Takahara N, Obata T, Omichi N, Sakamoto K, Shingu R, Taki H, Nagai Y, Tokuda H, Kitada M, Misawa M, Nishiyama A, Kobori H, Maegawa H, The Shiga Committee for Preventing Diabetic nephropathy: Comparative effects of direct renin inhibitor and angiotensin receptor blocker on albuminuria in hypertensive patients with type 2 diabetes. A randomized controlled trial. 「PROS ONE」 (12) e0164936、2017年11月

A-6

光井絵理：忍び寄る生活習慣病 糖尿病について知る「ECHO」89：P.3-4、バイエル薬品株式会社、東京、2016年11月

加藤 研：SAPの概要と指導体制の実際①「糖尿病ケア」Vol.14 No.1：P.74-77、メディカ出版株式会社、大阪、2017年1月1日

加藤 研：SAPの概要と指導体制の実際②「糖尿病ケア」Vol.14 No.2：P.67-72、メディカ出版株式会社、大阪、2017年2月1日

加藤 研：新名医の最新治療 Vol.467「週刊朝日」：P.61-63、朝日新聞出版、東京、2017年2月24日

瀧 秀樹：肥満2型糖尿病患者の治療「東成区医師会誌」540：P.25、東成区医師会、大阪、2017年2月

加藤 研：SAP指導の実際「糖尿病ケア」Vol.14 No.3：P.67-74、メディカ出版株式会社、大阪、2017年3月1日

B-2

Murata T, Matsuhisa M, Kuroda A, Toyoda M, Hirota Y, Kato K, Sawaki H, Tone A, Kawashima S, Okada A, Sakane N：PREDICTIVE FACTORS OF THE ADHERENCE TO THE REAL-TIME

CGMSENSORS: A PROSPECTIVE OBSERVATIONAL STUDY (PARCS STUDY): STUDY DESIGN. Advanced Technologies & For Diabetes Treatments 2017, France, 2017年2月16日

B-3

加藤 研、中嶋千晶、橋本友美、川嶋 聡、広瀬正和、神内謙至、和栗雅子、川村智行、小杉圭右、佐藤利彦、瀧 秀樹：CSII/SAP普及のための患者会活動の役割。第59回日本糖尿病学会年次学術集会、京都、2016年5月21日

B-4

西村元伸、山田和範、鴻山訓一、河部康次郎、郡山暢之、齊藤美穂、利根淳仁、瀧 秀樹、大谷すみれ、吉住秀之、田中剛史：糖尿病腎症第2期の寛解維持に影響する因子の検討（国立病院機構EBM研究HBP-DN）。第59回日本糖尿病学会年次学術集会、京都、2016年5月20日

餅 康樹、中山 環、永妻佑季子、大土彩子、谷川 清、種田灯子、光井絵理、加藤 研、平尾素宏、瀧 秀樹：肥満糖尿病患者への栄養指導がもたらす骨格筋量の増加は、HbA1cを改善させる。第59回日本糖尿病学会年次学術集会、京都、2016年5月20日

田矢直大、加藤 研、坂東佐和子、種田灯子、光井絵理、瀧 秀樹：インスリンアナログ製剤投与後抗体の性質変化を認めたインスリン抗体陽性緩徐進行1型糖尿病の1例。第59回日本糖尿病学会年次学術集会、京都、2016年5月20日

永妻佑季子、加藤 研、島田亜矢子、大土彩子、中山 環、谷川 清、福山雅代、山尾美希、光井絵理、種田灯子、田矢直大、坂東佐和子、平尾素宏、瀧 秀樹：1型糖尿病外来での管理栄養士の役割。第59回日本糖尿病学会年次学術集会、京都、2016年5月20日

田矢直大、種田灯子、光井絵理、加藤 研、小澤健太郎、爲政大幾、瀧 秀樹：悪性黒色腫へのニボルマブ投与前後の甲状腺機能と予後に関する検討。第59回日本甲状腺学会学術集会、東京、2016年11月4日

永妻佑季子、加藤 研、大土彩子、島田亜矢子、中山 環、谷川 清、福山雅代、山尾美希、田矢直大、種田灯子、光井絵理、平尾素宏、瀧 秀樹：1型糖尿病専門外来での管理栄養士の役割。第70回国立病院総合医学会、那覇、2016年11月11日

関 直人、西村英夫、大谷すみれ、西村元伸、宇治原誠、青木雄次、志田幹雄、田中剛史、八幡兼成、瀧 秀樹、河田公子、肥田和之、小田賀明、澄井俊彦、吉住秀之、河部庸次郎、菊池秀年：糖尿病腎症進展阻止のための抗血小板薬（シロスタゾール）の有用性に関する多施設共同プラセボ対照二重盲検用量比較試験（第四報）。第70回国立病院総合医学会、那覇、2016年11月11日

西村元伸、関 直人、米澤一也、石田紀子、田口修一、大谷すみれ、島田典生、杉山隆夫、鈴木誠司、宇治原誠、田中剛史、竹内美紀子、山田和範、瀧 秀樹、安東 豊、鴻山訓一、河田公子、利根淳仁、伊勢田泉、長瀬教夫、齊藤美穂、吉住秀之、河部康次郎、豊永哲至、郡山暢之：糖尿病腎症発症進展阻止のための家庭血圧管理指針の確立（HBP-DN）第7報。第

70回国立病院総合医学会、那覇、2016年11月11日

#### B-6

光井絵理、田矢直大、加藤 研、瀧 秀樹：SGLT2阻害薬投与1年間の臨床効果および体組成変化の検討。第53回日本糖尿病学会近畿地方会、大阪、2016年11月12日

種田灯子、加藤 研、田矢直大、光井絵理、川嶋 聡、瀧 秀樹：1型糖尿病患者に対するSAP導入の有効性についての検討。第53回日本糖尿病学会近畿地方会、大阪、2016年11月12日

田矢直大、加藤 研、種田灯子、光井絵理、飯田吉則、篠内和也、上田恭敬、瀧 秀樹：糖尿病ケトアシドーシスで入院後たこつぼ型心筋症を発症した1型糖尿病の一例。第53回日本糖尿病学会近畿地方会、大阪、2016年11月12日

村田 敬、松久宗英、黒田暁生、豊田雅夫、廣田勇士、加藤 研、澤木秀明、利根淳仁、川嶋 聡、坂根直樹：リアルタイム持続血糖測定器（CGM）センサーのアドヒアランス予測因子に関する前向き観察研究:研究デザイン。第16回日本先進糖尿病治療研究会、横浜、2016年11月26日

#### B-8

田矢直大、加藤 研、光井絵理、瀧 秀樹：インスリンアナログ製剤投与後抗体の性質変化を認めたインスリン抗体陽性緩徐進行1型糖尿病の1例。第10回大阪糖尿病臨床カンファレンス、大阪、2016年5月7日

加藤 研、永妻祐季子：チームで行うSAP療法～ケアリンクプロ解析と評価～。第59回日本糖尿病学会年次学術集会、京都、2016年5月20日

田矢直大、加藤 研、種田灯子、光井絵理、瀧 秀樹：ニボルマブ投与後の甲状腺機能異常～当院でのニボルマブ使用例における検討～。第10回大阪内分泌・代謝クリニカルカンファレンス、大阪、2016年6月4日

瀧 秀樹：増加する肥満糖尿病患者の治療。鶴見区医師会学術講演会、大阪、2016年6月28日

光井絵里：SGLT2阻害薬投与1年間のHbA1cと体重および体組成変化の検討。糖腎医療連携フォーラム、大阪、2016年7月21日

加藤 研：1型糖尿病のSAP（Sensor Augmented Pump）療法の実際。糖尿病の長期予後を考える医療連携の会2016、大阪、2016年7月28日

瀧 秀樹：糖尿病治療と地域連携について。中央区糖尿病スモールミーティング、大阪、2016年10月13日

田矢直大：入院における新規持効型基礎インスリンの使用経験。第4回Diabetes Seminar、大

阪、2016年10月19日

瀧 秀樹：増加する肥満糖尿病患者の治療。大阪市西区医師会学術講演会、大阪、2016年11月26日

加藤 研：SAP導入1年経過症例から考える、MDIの問題点とSAPの有用性。第7回糖尿病と脂質代謝を考える会、大阪、2016年12月7日

加藤 研：1型糖尿病に対する3C療法、SAP療法の実際。SAP Caravan、大阪、2016年12月10日

瀧 秀樹：肥満2型糖尿病患者の治療。東成区医師会生涯教育講演会、大阪、2017年1月18日

瀧 秀樹：2016年糖尿病領域のまとめ。法円坂 Joint Seminar、大阪、2017年2月23日

瀧 秀樹：増加する肥満糖尿病患者の治療。糖尿病診療を考える会、堺、2017年3月25日